

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）
地域行政学科・経済学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉)
【選択科目：倫 理】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

地域行政学科・経済学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉) 【倫 理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の各文章を読み、後の問いに答えなさい。

- (A) アテネにおける民主政治の発達に伴い、議論によって相手を説得する方法や知識が必要とされ、ソフィストたちは登場した。ソフィストは、(①) 術(レトリケー)を人々に教え、報酬を得るなどした。代表的なソフィストとして、プロタゴラス、ゴルギアス、プロディコスが挙げられる。プロタゴラスは、絶対的な真理の存在を否定し、個々人の判断が真偽を決める相対主義を唱えた。その考えは、彼の「人間は万物の尺度である」という言葉に表れている。
- (B) 7世紀前半(②)によって開かれた宗教はイスラーム教である。イスラーム教の信仰の柱であるアッラー、天使、(③)、(④)者、来世、天命は六信と言われ、イスラーム教徒(ムスリム)が実践すべき義務として(ア)五行がある。イスラーム教は、一神教を徹底している点が特徴的である。また、(⑤)崇拝の禁止も特徴的である。
- (C) エピクロス派の祖である(イ)エピクロスは、(ウ)快樂主義を説いた。真の快樂は、一時的な快樂ではなく、永続する魂の平安であるとした。他方、ストア派の祖であるゼノンは、(ウ)禁欲主義を説いた。ゼノンは、感情などに左右されない状態を目指すべきことを主張した。

問1 上の各文章(A)～(C)の(①)から(⑤)に入る最も適当な人名あるいは語句をそれぞれ答えなさい。(各2点)

問2 下線部(ア)五行の内容を5つ答えなさい。(順不同可、各2点)

問3 以下の語群から、(イ)エピクロスの教えや理想を表すものとして最も適当なものを2つ選び記号で答えなさい。(順不同可、各1点)

- | | |
|-----------------|--------------|
| (a) 「自然に従って生きる」 | (b) アパテイア |
| (c) アタラクシア | (d) パトス |
| (e) エピクテトス | (f) 「隠れて生きよ」 |
| (g) コスモポリテース | |

問4 下線部(ウ)快樂主義、禁欲主義は、それぞれどのような考えか。「苦痛」「欲望」「幸福」という言葉を用いて60字以内で説明しなさい。(5点)

Ⅱ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

19世紀半ばに始まるとされるヨーロッパの現代思想は、それまでの近代思想がもっていた、人間の〔 ① 〕による客観的で〔 ② 〕的な概念にもとづく〔 ③ 〕的思考を重視する合理主義的傾向に対する a アンチテーゼという面をもつ。例えば、実存主義の先駆者とされるデンマークの〔 ④ 〕は、近代最後の思想家とされる〔 ⑤ 〕の絶対的観念論という、〔 ③ 〕的で神がかった壮大な哲学大系を批判し、人間の〔 ⑥ 〕的で主体的な生き方を自らの〔 ⑦ 〕によって選択することの重要性を、実存として強調した。しかし、そのことは人間に内面的な不安定さをもたらし、自己を見失った状態へ駆り立てざるをえないとして、それを〔 ⑧ 〕と表現した。

また、19世紀の後半、アメリカで活躍した〔 ⑨ 〕は、主観と客観、精神と物質の対立を超えたところに〔 ⑩ 〕的実在としての意識の流れがあると説き、そうした根源的な〔 ⑪ 〕経験をもとに観念や真理を説明する、プラグマティズムの立場をとった。この立場では、真理は〔 ⑫ 〕であることによって示されるものであり、その意味で、正しい観念や理論は行動の〔 ⑬ 〕にすぎない、とされた。

他方、同じ頃、オーストリアの〔 ⑭ 〕は、人間の神経系に関する研究に基づいた経験的事実の厳密な考察から、精神分析学を立ち上げた。それによれば、人間の様々な神経症の症状は、人間に意識的・自覚的に捉えられる〔 ⑮ 〕の領域のみによって生み出されるのではなく、無意識下に存在するメカニズムによっても生じる。すなわち、本能的で根源的な欲求によってもたらされる〔 ⑯ 〕と、^{とら}躰や教育によって植え付けられる〔 ⑰ 〕との間における無意識的対立・葛藤を、〔 ⑮ 〕がうまく調整・制御できないことが原因となる、と説いたのである。この考え方は、近代の合理主義を根底から揺るがすことになった。

そのことは、20世紀に入るとさらに突き詰められていくことになる。1930年代にドイツで成立した b フランクフルト学派の思想家たちは、〔 ① 〕が発展すれば人類は〔 ② 〕的真理に到達できるという近代の〔 ① 〕万能主義を楽観主義として退け、ファシズムや核戦争、環境破壊など深刻な問題を次々と生み出す現代社会を解明し、その矛盾を明らかにしようとした。そして彼らは、ファシズムや戦争、環境破壊などの原因は共通の思想的背景をもち、それは〔 ① 〕による外なる（外部の）〔 ⑱ 〕の支配とともに、人間の感情や欲望など内なる〔 ⑱ 〕の抑圧にあるとし、〔 ① 〕と〔 ⑱ 〕の和解が目指されなければならないとした。

さらに1960年代になると、c 構造主義をとる思想家たちがフランスを中心に登場し、人間を自由な主体性という〔 ① 〕中心に捉える近代主義を批判し、人間を歴史的・社会的に関係づけられ、意味づけされた〔 ⑲ 〕的体系として解明する理論をさまざまな分野から提唱した。そこでは例えば、言語表現や言語意味は最初から確定されたものとして成立しているのではなく、互いに他のものとの〔 ⑳ 〕の中で決まるとされたり、あるいは未開社会の神話的思考の内にも厳密な論理や体系性が存在し、西洋文明が見習うべき優れた点があると主張されるなど、近代ヨーロッパ文明を相対化する視点が特徴的である。

問1 上の文中の [①] ～ [②⑩] に入るのもっとも適当な語句・人名を、次の語群中から選んで、記号で答えなさい。なお、同じ丸数字には同じものが入り、同じ語句・人名が異なる丸数字に入ることはないものとする。(各1点)

【語群】

あ・あきらめ	い・貨幣	う・カント	え・キルケゴール	お・決断
か・具体	き・個別	く・差異	け・サルトル	こ・ジェームズ
さ・自我	し・自然	す・宗教	せ・純粹	そ・身体
た・神秘	ち・絶望	つ・全体	て・抽象	と・超自我
な・道具	に・ニーチェ	ぬ・ハイデガー	ね・美	の・普遍
は・フロイト	ひ・ヘーゲル	ふ・マルクス	へ・有用	ほ・理性
ま・エス (リビドー)		み・倫理		

問2 下線部 a の意味を、20 字以内で書きなさい。(3点)

問3 下線部 b に属する思想家の名前を一人、書きなさい。(2点)

問4 下線部 c の思想家の名前を一人、書きなさい。(2点)

Ⅲ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

西田幾多郎は、西洋哲学を東洋的な思索と経験において受けとめようとした思想家である。彼は、西洋の近代哲学における、認識 [A] を中心におき、認識するものと認識されるものとを対立的にとらえるものの見方を批判した。たとえば、若者が楽器の演奏に打ち込み、われを忘れて演奏に没入するとき、演奏している若者と音楽とは、一体となって主客 [①] の状態にある。西田は、このように自己と世界とが混然一体となった根源的で直接的な生の体験を、[②] と呼んだ。

西田によれば、わたしたちは [②] において真の实在と出会うことができる。それは知識では [③] として、感情では [④] として、意志では [⑤] となってあらわれる。これらの価値を世界の働きと一体になって創造するところに [B] が実現されるという。

そして晩年の西田は、上述の真の实在を [⑥] と呼んだ。それは、有るものの否定ではなく、すべてを生み出す根源となるものである。彼は最終的に、a 現実世界において絶対的に対立するものも、この [⑥] の場所においては同一であるという考えに到達した。

問1 上の文章の [①] ～ [⑥] に最もよくあてはまる語句または人名を記入しなさい。
(各2点)

問2 上の文章の [A] と [B] に最もよくあてはまるものを次の記号ア～ケの中からそれぞれ選びなさい。(各2点)

ア 本質	イ 人格	ウ 観念	エ 現象	オ 主体
カ 存在	キ 精神	ク 他者	ケ 実体	

問3 下線部 a の事柄を西田は何と呼んだか。漢字九文字で記入しなさい。(3点)

問4 西田の著作として正しいものを一つ選べ。(2点)

ア 『風土』	イ 『私の個人主義』	ウ 『善の研究』
エ 『大乘仏教概論』	オ 『共同幻想論』	

問5 西田において「自覚」とは何か。50字以内で説明しなさい。(6点)

Ⅳ. 次の文章を読んで空欄（ 1 ）～（ 7 ）に最も当てはまる語句を記入しなさい。（各2点）

- 1、医者と患者の関係について、日常的な医療行為において、医者の権威で患者を保護干渉する（ 1 ）を排して、患者に十分な説明責任を果たし、患者自身の自己決定を尊重する（ 2 ）が重視されつつある。
- 2、1992年、ブラジルのリオデジャネイロで開催された（ 3 ）では、開発と環境のあるべき関係として「（ 4 ）」というスローガンが採択された。これは先進国と開発途上国との間で生じる開発と環境に関する対立を超える思想的枠組みとして規範となった考え方である。
- 3、日本は（ 5 ）化が進み総人口は減少に転じている。その背景には、子育てに関する経済的負担や心理的、肉体的負担の大きさ、仕事と育児の両立の難しさが考えられる。安心して出産や育児ができる社会を実現するため、現在、内閣府では「仕事と生活の調和」を表す（ 6 ）をキーワードに社会環境の整備、働き方の見直しを行っている。
- 4、青年期について、近代以前の多くの社会においては、大人と子どもの社会はかなり明確に分けられており、大人になるための（ 7 ）という儀式があった。

Ⅴ. エスノセントリズムとはどのような意味か説明しなさい。また、その考え方に固執し、狂信的になり、暴走する問題も世界各国で見られている。エスノセントリズムが肥大化しないようにどのようなことが有効かあなたの考えを60字以内で述べなさい。（5点）